

# 第一波連続闘争を貫徹！

日刊 動労千葉

1988.5.26

No. 2823

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）五三五〇六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

## 5.22三里塚現地集会に決起する

労農連帯こそ勝利の道！ 力の根源！

五・二二三三里塚全国集会は、雨の降りしきる中、二期阻止、反対同盟防衛の決意に燃えて一〇五名の組合員・家族が現地地に結集し、反対同盟と闘う労農学、人民との連帯をより一層うち固めた。布施書記長は、あいさつの中で力強く「五・一八千葉駅、二〇亀戸駅でついに動労千葉の反撃第一弾としてのストライキを貫徹した。権力、当局の大弾圧、スト圧殺攻撃を全組合員の団結ではねとばし堂々とストライキをうちぬいた、この力は労農連帯によって生み出されている。同盟を守り、二期を阻止しよう」と訴え、万雷の拍手をうけた。反対同盟と両輪となって共に進もう。

総決起第一段階  
すでに五〇〇名が決起！

第一四回臨時大会でストライキ決起を一〇〇%の賛成で確立し、ただちに全組合員が決意を燃やし、総決起、総行動に起ちあがった。

一八・二〇ストには、役員・活動家を切きとられながらも全支部から三五〇名が二拠点に結集、息つく間もなく三里塚に、そして、夏季物販・全国オルグへと全力でたちあがっている。実に、この間の総行動には五〇〇名をこえる組合員が行動している。

この行動力、実践力こそが動労千葉の力であり、その根源的要因こそ、当局・革マル鉄道労連への怒りである。

だが、これは、まだまだほんの第一段階である。当局は誠意をもって話し合いに応じ、強制配転を白紙に戻すこと、不当処分を撤回すること等々、これらの最低限度の要求を受け入れないならば、われわれは怒りを更に燃やし、隊列を整え、二波三波：と波状的に徹底的に闘う。そして、必ず目標を実現する。

われわれの第一弾の闘いに対し、圧倒的多くの国労組合員等からの支援・連帯が寄せられている。こうした仲間たちともガッチリとスクラムを組んで共通の敵、共通の目的のために、大いに奮闘しようではないか。



五・二七千葉みなと駅へ！

この間の二発の闘いで、すでに当局は大動揺の中にたたきこまれている。彼らはあまりにも卑劣不法、不当なやり方をほしのままにしてきた。そのため、われわれが一旦決意し、反撃に起つやなんらなすすべもないのだ。

ストライキ権という正当な権利を武器に、全組合員の総決起、総行動で当局・革マル鉄道労連を追いこみ、職場と組織を守りきろう。

五・二七京葉線千葉みなと駅・一七時三〇分から全力結集し、売店で闘う仲間の時限ストを防御しよう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

5.27 第二波スト  
千葉みなと駅  
17じ30分集合ー19時  
支社抗議デモ出発  
全力で集ろう